

三和新聞

THE SANWASHIMPO
第313號 (昭和29年6月17日第三種郵便物認可)
日刊(日曜・祝・祭日を除く) 購読料 1カ月 50円

5月11日
(水曜日)

発行所
三和新聞社
平市六丁目
電472番

木材の百貨店

一般建築材・家具材
ベニヤ板類・鋸木・杉材
建具材・鉄骨・ラワン材
米杉・車輪材・枕木・電柱

丸一材木店
工場 平市鶴岡町電556
平市五丁目電290

内郷、常磐水道問題

立小便は処罰出来ぬ、暴言はく保安監督部

内郷市民は直接行動か 常磐市民は直接行動か

危機にひんした常磐、内郷両市の水道問題につき常磐、内郷両市代表は十一日午前十時、飯山保安監督部平支部に瓜生支部長を訪ね、十二日の公開聴聞会を慎重な態度でひらくよう働きかけた。監督部の回答は採掘中止勧告をきかぬ場合の懲罰を立小便が違法でも事実上懲罰は出来ないなど、軽率極まる回答を行い、代表たちは憤激「当局が不誠意なら市民は直接行動に出るかも知れない」と引上った。

常磐、内郷の水道が戸部鉄道の新抗道掘進のため濁水がひどく危機に瀕しているという問題について東京飯山保安監督部では十二日午前十時から平支部に戸部鉄業代表取締役戸部武雄氏を招いて公開聴聞会をひらくが、これに瓜生支部長、内郷市を代表して常磐市前副市長小野英二氏、内郷市助役黒田吉之助氏ら五名が、保安監督部平支部と平支部支局を訪れ瓜生保安監督部長と干渉接洽係長に同席、水道問題は市民の死活にかかわる重要問題であり、この放置するならば市民は直接行動に出るかも知れないと聴聞会には意見を述べられるよう要望した。

これに対して瓜生監督部長は聴聞会は飯山保安法第二十条第一項の規定による大規模な掘進の保安設備の充てん命令について監督者の意見を聴くもので、常磐市の水道問題には関係なく、内郷市の水道問題に關係があるだけである。聴聞会は十一日午前十一時ごろ内郷市内第二中三年生と名乗る中学生から「三筆デパートにいる、話があるから早く来てくれ」という電話があり丹治刑事が急行した。十一日午後一時、内郷市内の某所から現金十五万円と有価証券三萬円を盗み出し市内数カ所に分散して隠したと自供した。同署に連行された。盗み出しの場所については取り調べを開始した。中学生は内郷市内町A(三)で学校の成績も優秀で学級委員をしており現金十五萬円のうち二萬七千円は盗んで隠した。盗んだ金や証券は山学校をしながら隠したと語り、深い事情があるらしく取調べの進展が注目される。

中学生内郷署に怪電話 捕えてみれば十五万円 持出か、盗みか追及

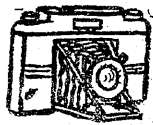
勿来市長選29日 古川、星、横田氏出馬

正札販売運動 特賞拾万円当選発表

日曜例会、第三十七回開募会は十四日告示、二十九日投票と決めた。投票は午前七時から午後六時まで植田地区五カ所、山田地区六カ所、川部地区三カ所、山田地区おのの二カ所の計十八カ所で行われ開票は午後七時半から市役所(旧植田町役場会議室)で行われる。当落は十一時ごろ判明する。

出馬の顔ぶれは果人事業委員、石城酒造会社社長、古川一(植田)、前果樹園長(鶴)、警備員(植田)の三氏が確定している。

囲碁 平将棋倶楽部の第三



今日の人

佐藤三平

藍綬ほう章をうける
四年には内郷警防団の副団長、大分、警備隊を伝達される佐藤三平氏は製材業者として有名だが生えぬきの消防人としてより県下で名だたるものがある。明治二十四年神谷村で生まれ、廿才で同地の佐藤助商店の番頭となり翌年は独立して坑本の販売をはじめた。これがトントン拍子に成功して矢吹、郡山、浪江、須賀川などに出張所を設けて大成功、今日の基礎を築いた。大正七年に、平野工業協会の消防手を拝命、戦時中の昭和十

あす ナイチンゲールの日
明日はナイチンゲールの日。ナイチンゲールは看護婦のシンボル。看護婦の功績をたたえ、看護婦の日と定められた。

祝 ナイチンゲールデー

5月12日

平市鎌田町(電八二六) 金成医院 杉延金金 野野成成 元端俊桂 也雄男一	性病科 皮膚病科 矢吹医院 矢吹大一郎 平市古賀治町 電二九三番	小児科 三井医院 三井五郎 平市田町 電八五番	内科 和田医院 平市白銀町 電一一八七	耳鼻咽喉科 鈴木医院 鈴木正男 平市田町 電六三番	外科 木村外科医院 木村淳 平市開町 電三〇九番
--	---	---	----------------------------------	---	--

